

## 平成 30 年度第 2 回あしや子ども笑顔ネット会議録

日 時：平成 30 年 7 月 18 日（水）15 時～17 時

場 所：リードあしや 会議室 C

出席者：朝倉己作（(特活)芦屋市手をつなぐ育成会）宇佐見裕子（精道小学校 smile  
ねっと）金木友子（精道中学校学校支援ボランティアコーディネーター）  
小泉星児（芦屋市商工会青年部）辻本久夫（こくさいひろば芦屋）  
長城紀道（芦屋法律事務所）宮平太（芦屋市社会福祉協議会）奈良雅美（(特  
活)あしや NPO センター）

芦屋市企画部市民参画課 浅野課長 飯星課員

芦屋市立あしや市民活動センターリードあしや 橋野

ゲスト：社会福祉法人山の子会 顧問 若林 伸和 氏

### 1 ゲストスピーカーによる活動説明と質疑応答

#### ・社会福祉法人山の子会について

芦屋市茶屋保育園、東灘区に 7 カ所の保育園を平成 26 年度設置運営  
本体は福岡県行橋市、理事長が大阪で学校法人を運営

#### ・芦屋市高浜町 1 番社会福祉複合施設について（資料参照）

500 坪の敷地に建つ複合型福祉施設

10 月半ばに工事終了引き渡しがあり、12 月 1 日から稼働予定

1 階カフェレストランは 1 日居ることができる交流の場

4 階ではワンちゃんセラピーや家庭菜園ができる場

地域福祉課依頼「地域学びの場支援事業（委託料 300 万円）」として地域食堂（全  
世代対象）を当初は週 2 回開催予定、状況により回数を増やしたい。

貧困家庭の子どもを対象とした学習支援（宿題・進学）と地域食堂利用（クーポ  
ン利用など）、夜 8 時までで送迎はしないという方針で計画中

夕方 4 時～6 時で居場所提供として、子ども落語教室、英語、人権、芦屋の歴史散  
策、星のソムリエ等、イベントを考えている。

7 月、8 月中に対象候補者を教えていただき（社協？地域福祉課？学校の先生？）  
家庭訪問をしたいと考えている。

#### ・質疑応答

こくさいひろば芦屋は年間 2,000 円で外国人の学習支援をしている。こども食堂  
については、社協からお試し会の打診があった。この施設内で会場を借りること  
が可能か。

→社協提供のこども食堂の計画は無くなった。勉強の場としては、4 階火災時等  
緊急利用スペースが利用可能であるが、有料になると思える。

対象者については？

→対象者選定は行政、広報は地域福祉課から各家庭へ送られる。

障がい者に関して 24 時間対応は可能か？

→可能ではあるが、知的障がい対応の職員が中心であり、精神障がいは難しい。  
陽光町ではコープ協力の元、孤独死・孤立を無くすために地域食堂を開いている。

こういった情報の連携、ネットワークは？

→フードバンク関西の子ども食堂サミットに出席したが、近隣の地域食堂は浜風町の活動を伺っただけ、高浜UR住宅での地域集会所との連携を考えている。

#### ・まとめ

子ども食堂、地域食堂、学習支援、表にでていないもの、地域に密着している小さな活動がある。情報を集めること。

芦屋市との絡みのものは対応が難しい、笑顔ネットに地域福祉課にお越しいただき説明を受けてはという意見あった。

高浜 1 番には大いに期待しているので、今後この会議に要望があれば連携する。

## 2 前回の協議

### (1) 子ども食堂について

#### ・クラーク記念国際高等学校の取り組みの説明

学生が中心となり、精道小学校の児童に宿題等を教え、一方では栄養士の指導の元食事を作っていた。

学生の進学等のためのボランティアポイントにもなるようだ。

昨年度から開催しているので学生も児童も慣れている雰囲気であった。

### (2) 防災関連（資料参照）

市内、防災倉庫の備品と備蓄状況は、近隣の市と同様に充実していることが分かった。

兵庫県の物資と合わせ、災害時 1 週間は対応可能な状態である。

(特活)芦屋市手をつなぐ育成会では知的障害者向けの「災害時要援護者対応マニュアル」を作成している。今後は精神・身体障がい者用のマニュアルも作成予定。

## 3 日本世代間交流学会第 9 回大会参加について

10 月 6 日（土）武庫川女子大中央キャンパスで開催 参加は全員一致で賛成  
芦屋 777 プロジェクトの小泉実行委員長、金木副実行委員長、橋野でまとめる。  
子ども新聞で協力いただいた神戸新聞社、学生の参加を呼び掛ける。

## 4 次回の会議日程 10 月 23 日（火）15 時 - 17 時 リードあしや会議室 C